

シノーバー最新システムのレイテンシと処理性能を発表

最新版の **TRADEExpress™** 取引システムの処理性能は、平均反応時間が **100 万分の 286 秒** と驚異的な低レイテンシであり、5つのマッチング・エンジン領域を設置した場合、1秒当たり **80 万件** 以上価格更新できる処理容量があることが明らかになりました。

シノーバー (Cinnober) は **TRADEExpress** 取引システムと関連ソリューションをアルファ **ATS**、バーガンディ、イタリア取引所、マーケットポート、ターコイズなどの取引所や多角的取引機関、代替取引施設に提供しています。

競争力の維持と出来高の増加を望む取引機関にとって、スピードは不可欠です。**TRADEExpress** 取引システムはレイテンシの最小化と処理能力の最大化を最優先して開発されていますが、そのコンセプトは現在も継続的に行われる改善作業でも引き継がれています。このシステムは、**1 年前** にバージョン **7.0** が顧客に提供されており、今回は前バージョンからの大規模な更新です。今日発表された最新版は、機能向上を追求する努力の結果と言えます。

処理能力テストで確認された応答時間 (入口から出口までのレイテンシ) は、平均 **100 万分の 286 秒** でした。稼働中のスタンドバイ・サーバーへの同期化を行う場合は、平均応答時間に加えて約 **100 万分の 100 秒** を要しました。

入口から出口までのレイテンシとは、注文が取引市場に入った瞬間から、マッチング・エンジンで処理され、応答と結果が取引参加者に返されるまでの時間です。

さらに、重い負荷に対するシステム容量を実証するために、処理能力テストを実施しました。その結果、**1 秒あたり 801,500 件** もの価格更新ができることが証明されました。

このテストでは、5つのマッチング・エンジン領域を設置した状態で **40** のバッチ要素について処理能力を確認しました。**TRADEExpress** の構造では、領域を増やせば、それに比例してより大きな取引量に対応できます。

シノーバー名誉会長の **Nils-Robert Persson** のコメント：「スピードと性能は顧客にとって至上命題であり、市場で最速のスピードを誇る顧客もおられます。今回のテスト結果はすばらしいもので、シノーバーのシステムが優位にあるだけでなく、追加要求に対応し続けるために、システムの改善が十分行われていることをも証明しました。このような高い性能が汎用性の高いハードウェアで達成されたこと、注文が取引市場に入ってから反応と結果が取引参加者に返されるまでのレイテンシそのものを計測したことが重要です。」

性能評価は全てテスト・サイトで検証されました。TRADEExpress の性能評価を詳細に説明した報告書を近日発表いたします。

本件の詳細については下記までお問い合わせください。

Nils-Robert Persson
Executive Chairman
Cinnober Financial Technology AB
Tel. +46 70 552 5228

シノーバー・ファイナンシャル・テクノロジー (Cinnober Financial Technology) について

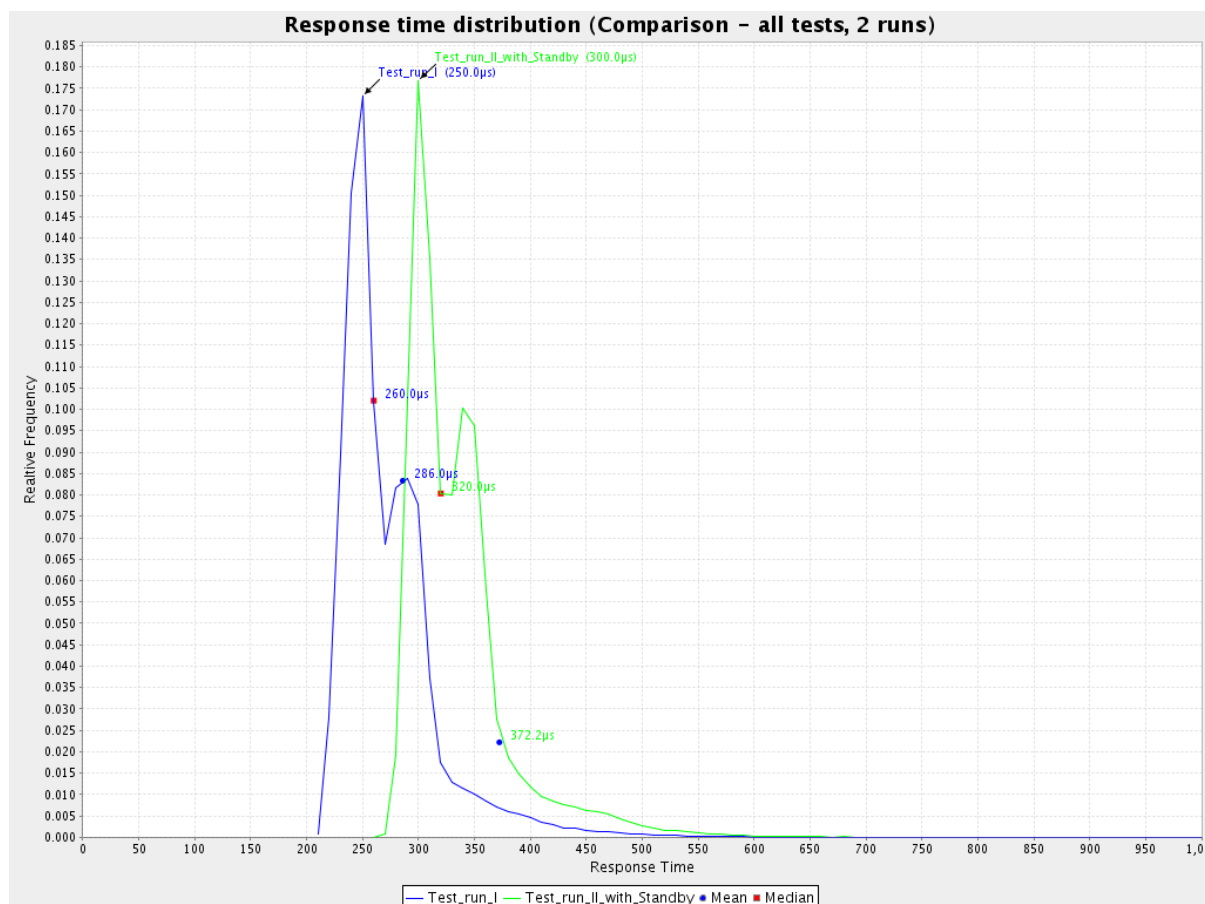
シノーバーはアルファ・トレーディング・システムズ、シカゴオプション取引所、ロンドン金属取引所、マーケットポート、NYSE Liffe、ターコイズなど多くの有力取引所にミッション・クリティカルなシステムを提供しています。シノーバーの商品は大規模なカスタマイズが可能であり、拡張性の高い、高性能、低レイテンシの取引処理プラットフォームであるTRADEExpressをベースとしています。TRADEExpressは完全JAVA準拠で、ソリューションに柔軟性を与え、ハードウェアとデータベースが独立しています。シノーバーについての詳細は、www.cinnober.comをご参照下さい。

TRADEExpress™ 取引システムについて

TRADEExpress™ 取引システムは金融、コモディティ、エネルギー分野の最も要求水準の高い市場のニーズを満たす低レイテンシ、高処理能力の取引エンジンです。最新の業務機能とスピードと処理能力における先端的な性能を一体化しています。取引システムについての詳細は、www.cinnober.com/tradexpress-trading-systemをご参照下さい。

別表

レイテンシの性能評価 反応時間の分布（比較—全テスト2回施行）



グラフは配列された稼働中のスタンバイ・サーバーへの同期化の有無による2種のレイテンシテストを表したものである。

テスト実施	最頻値 (100万分の1秒)	平均値 (100万分の1秒)	中央値 (100万分の1秒)
注文が市場に入ってから、応答と結果が返されるまでのレイテンシ、スタンバイなし	250.0	286.0	260.0
注文が市場に入ってから、応答と結果が返されるまでのレイテンシ、スタンバイあり	300.0	372.2	320.0

レイテンシテストにおける配列された稼働中のスタンバイ・サーバーの同期化の有無での最頻値、平均値、中央値